

平成19年度

情報関係基礎 実施調査

神奈川県情報部会 情報教育委員会
佐野 和夫



調査の背景

- 普通教科「情報」の未履修問題
 - 受験教科だったら、もっと注目されるのでは
 - 情報関係基礎の扱われ方がわからない
-



実施状況調査の目的

- 生徒の受験の機会を広げる事
 - 多くの大学において、情報関係基礎が受験科目に設置されること
 - 教科「情報」がより認識される
-



志願者数と受験者数

□ 志願者数 553,352人(551,382人)
()内は平成18年度

□ 受験者数 511,272人(506,459人)

□ 数学② 330,424人(331,387人)
64.6% (65.4%)



数学②の内容

- 「数学Ⅱ」
 - 「数学Ⅱ・数学B」
 - 「工業数理基礎」
 - 「簿記・会計」
 - 「情報関係基礎」
-



情報関係基礎（傾向）

第1問

問1 計算問題

- a 6桁の2進数で表されるパターン
- b 2進数を10進数に変換
- c 2進数の掛け算と割り算のシフト演算
- d 2進数の補数



情報関係基礎

- 問2
- a URL
 - b IPアドレスとDNS
 - c ルータ
 - d HTML
- 問3
- ブロードバンドの説明
 - ADSLの説明
 - 光ファイバーFTTHの説明
 - CATVの接続
 - ISDNの接続
-

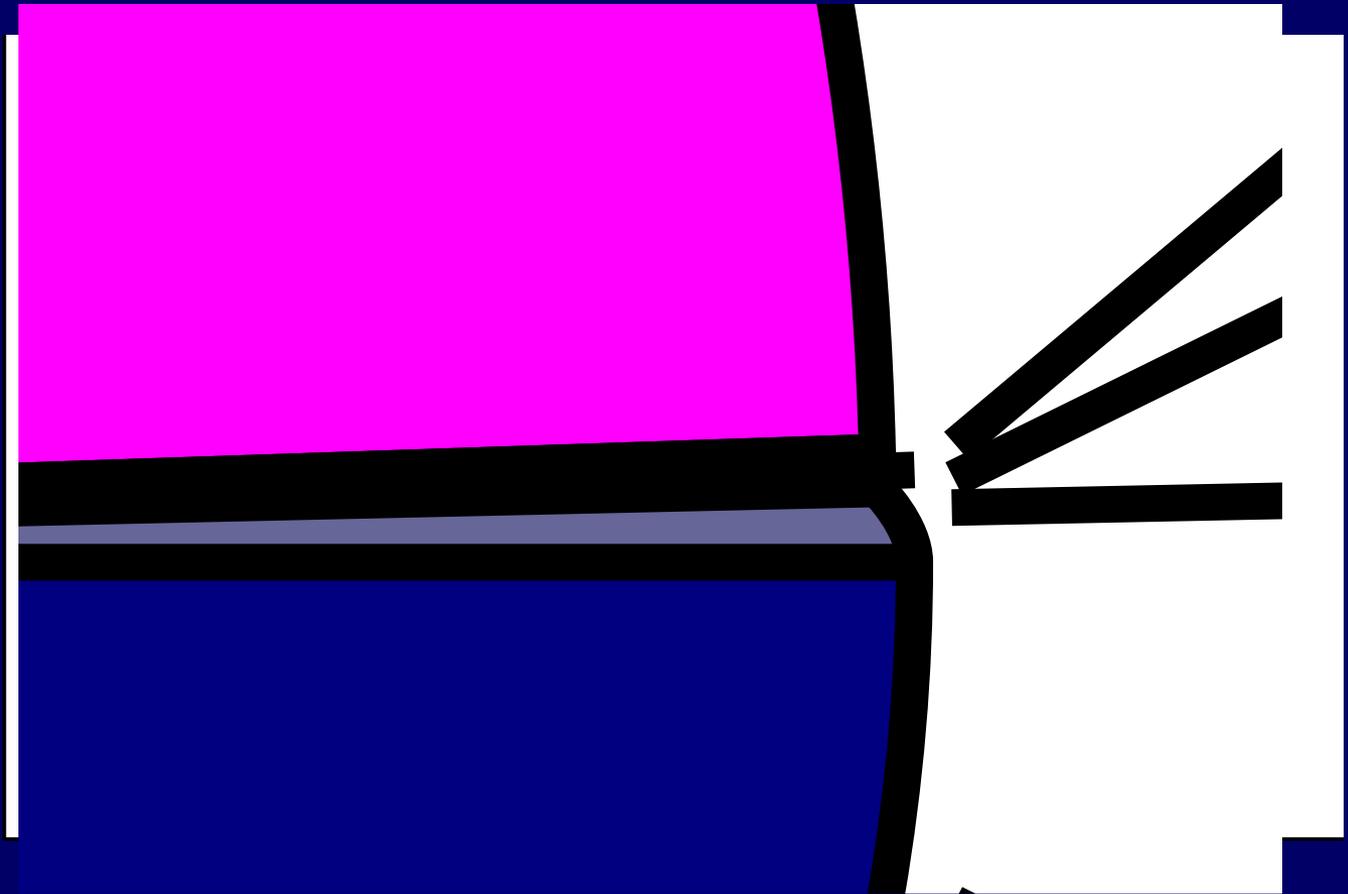


志願者数と受験者数

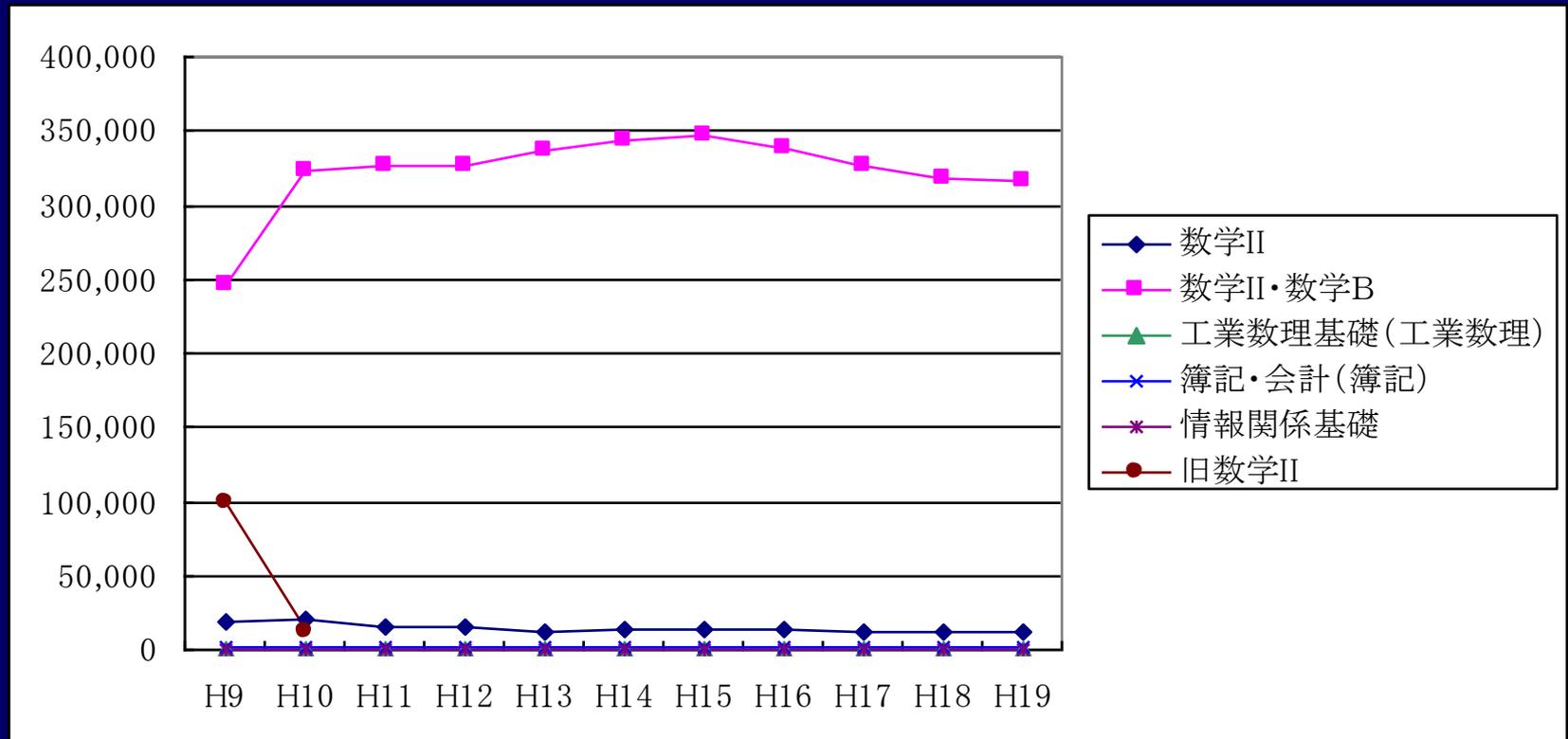
- 志願者数 553,352人(551,382人)
()内は平成18年度
- 受験者数 511,272人(506,459人)
- 数学② 330,424人(331,387人)
64.6% (65.4%)
- 情報関係基礎 595人



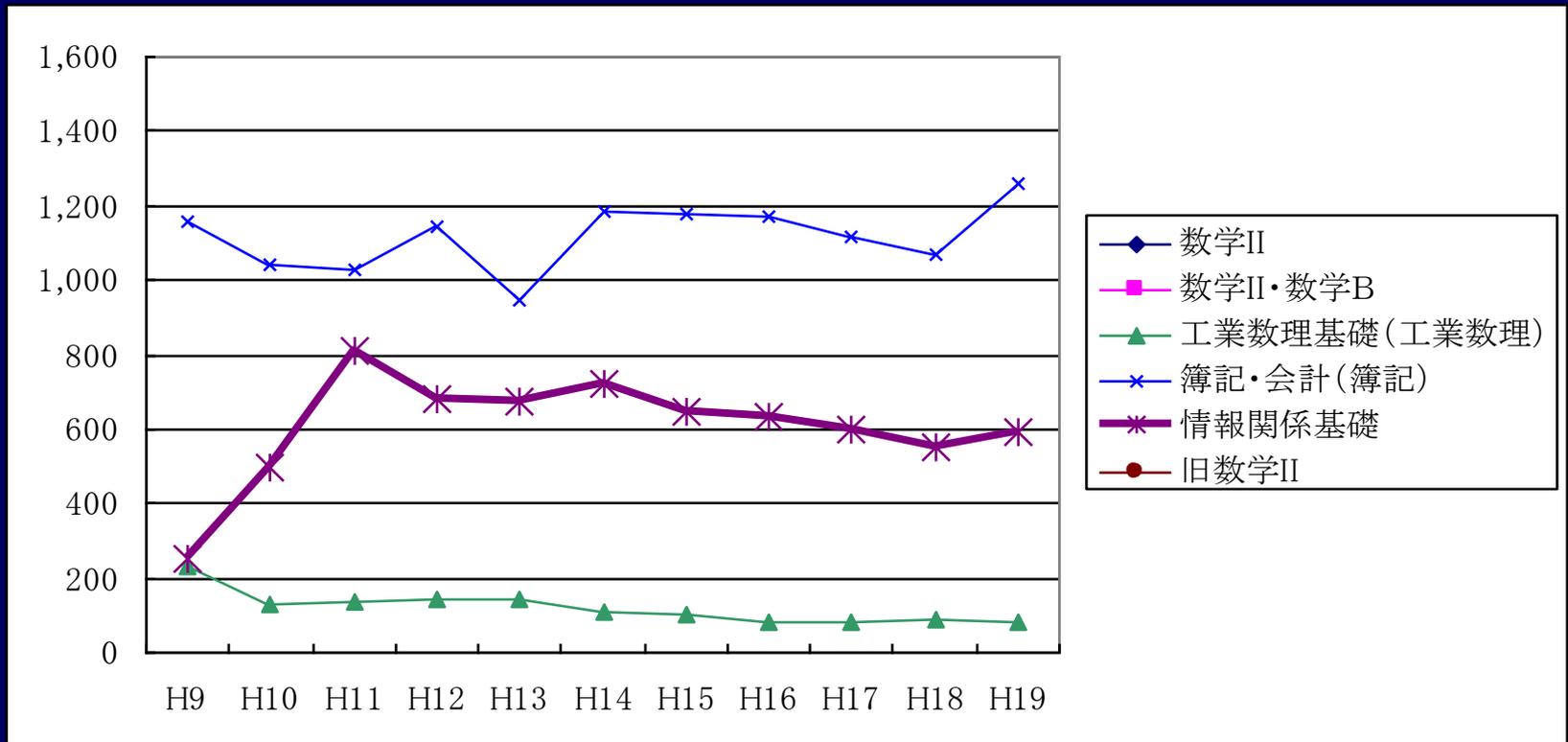
数学Ⅱ・数学Bがほとんど



数学Ⅱ・数学Bは若干減少

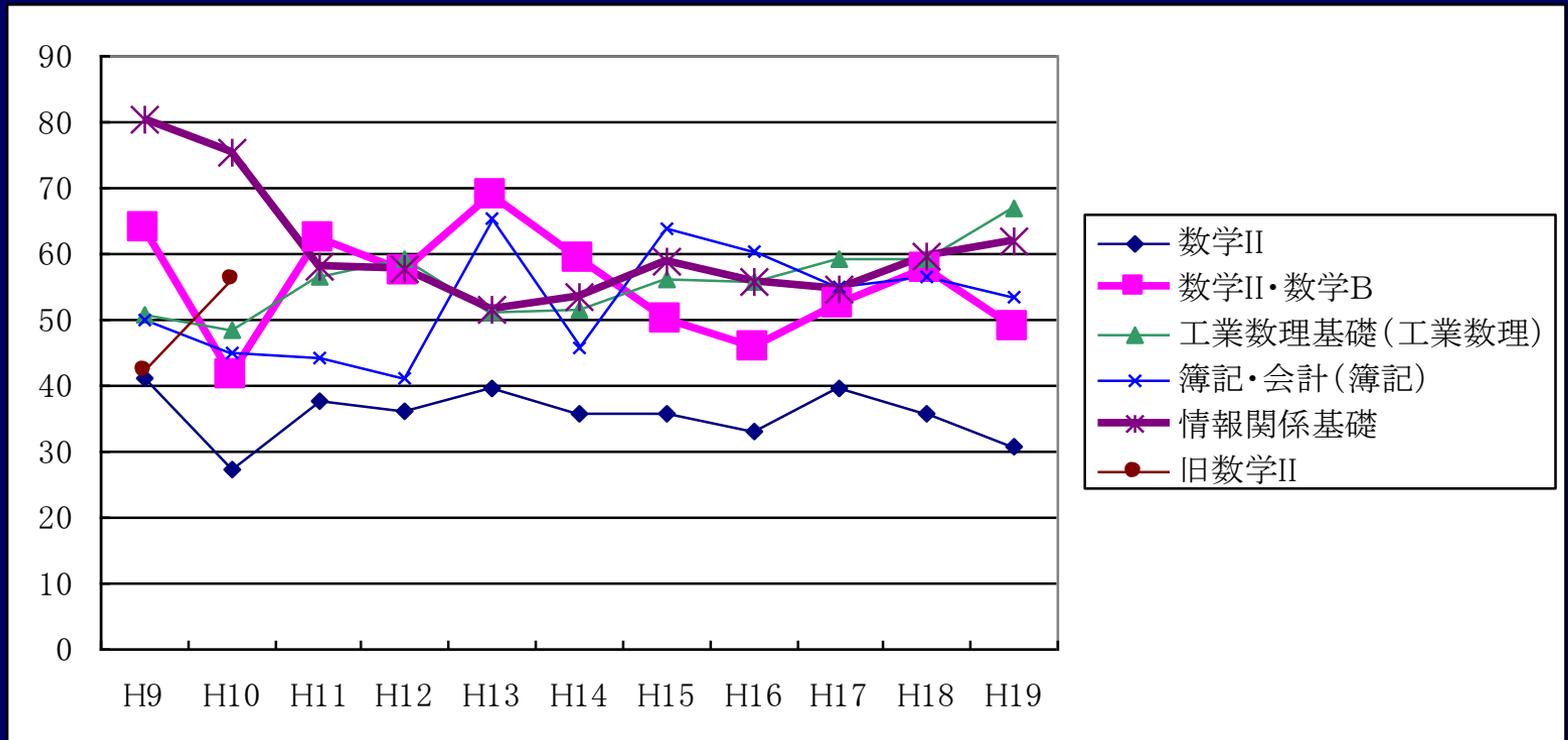


情報関係基礎は若干減少



教科情報のためにも、もっと情報関係基礎を増やしたいですね。

数学Ⅱ・数学Bより高い平均点





コンピュータが得意な生徒

- 文系でセンター試験利用入試を使う私大
 - 受けたもののの中から高い点をとる入試
 - 文系で数学を使う国公立大入試
 - 数学で受験しなければならないとき
 - 情報学部系？
-



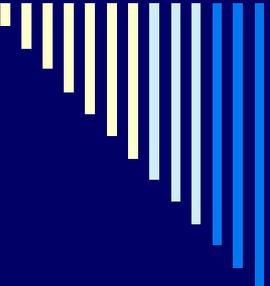
アンケート実施範囲

- 当初は関東大会の発表なので、関東の大学全部を対象にした。
- 数が多すぎたので、東京都と神奈川に絞り余力があれば、他県もやる予定だった。



国公立大学 (情報関係基礎実施)

県	大学数	情報
茨城	3	3
栃木	1	1
群馬	5	4
埼玉	2	2
千葉	1	1
東京	12	11
神奈川	3	2
総計	27	24



私立大学 (情報関係基礎実施)

県	大学数	情報
茨城	3	1
栃木	6	4
群馬	7	7
埼玉	18	13
千葉	18	12
東京	84	47
神奈川	13	9
総計	149	93



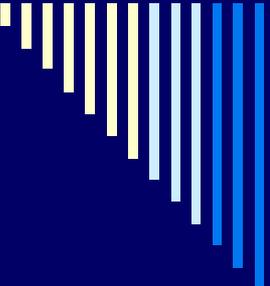
実施計画

- 6月29日 部会長承認
外部機関 河合塾 との連絡
- 7月18日 アンケート方法, 集計用紙配布,
- 7月19日 アンケート開始
- 7月27日 アンケート終了, 集計開始
- 8月 5日 アンケート分析終了, 分析提案
- 8月 8日 アンケート承認, 印刷, 製本



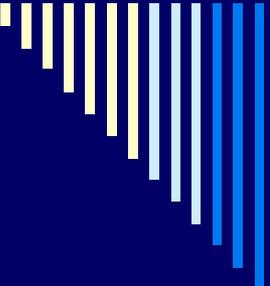
アンケート実施

- 神奈川県情報部会 情報教育委員会の
石井, 諏訪間, 松下, 五十嵐, 吉川, 田原,
佐野が担当
 - 調査大学数 74校
有効数 60校 無効数 14校
 - アンケート数(学科ごと)
有効数 649通 無効数 116通
-



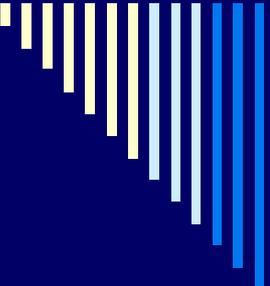
アンケート実施中

- 教科情報の科目を知らない。
十分にアピールできた！！
 - 情報関係基礎という科目があると思っている。
 - 私立大学の多くは、「条件無し」がほとんどである。
-



アンケート実施中

- これからセンター利用入試の枠を増やそうとしてる。
 - 文部科学省から、センター利用入試の枠を増やすようにと指示がでている？
 - 受ける生徒がいないので、条件が決められない。
-



今後の予定

- 来年も、調査を実施したいと個人的には、思っている。
- 生徒の知識を読み取るための完成テストを実施し、センター試験に影響を与えるような活動をしたい。